

砂防課長挨拶

令和元年東日本台風から本年6月で8ヶ月が経過します。お亡くなりになられた皆様に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災され、現在も厳しい状況におかれている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、砂防ボランティア協会会員の皆様には、平素から県の建設行政に対し、格別のご支援、ご協力を賜り、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

県では、令和元年東日本台風（台風第19号）災害の教訓を踏まえ、今年度、改良復旧と予防保全による流域の治水砂防安全度の向上とともに、ハード・ソフト対策、総力を上げての避難支援を重要な課題として取り組んでおります。

ハード対策として、流域を保全する土砂災害対策事業等や土砂災害特別警戒区域等に立地する要配慮者利用施設・避難所を守る土砂災害対策事業の推進、ソフト対策では要配慮者利用施設の避難確保計画の策定推進や避難所の立地見直し、我が事として捉える住民の防災意識の向上を目的とした防災教育事業に引き続き取り組んでまいります。

会員の皆様には、昨年度から防災教育の専門家“赤牛先生”として、県内各地で講義を行って頂き、この場をお借りして感謝申し上げます。

“赤牛先生”派遣事業は、皆様がこれまで培ってこられた経験、地域の災害特性、身近な教訓などを題材にして、5年間で概ね300回を目標にしており、今年度もすでに申し込みが届いております。一方、防災教育の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策のため、様々工夫していただくことが必要で、色々のご心配の点もあろうかと思っております。この点は、開催する地元のお考えも踏まえながら、適切に対応できるよう調整してまいりたいと考えております。引き続き、県民の安全・安心のため、会員の皆様には、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和2年6月10日

長野県建設部砂防課長 藤本 済